

新基地建設反対名護共同センターニュース

オール沖縄会議などが新基地中止を要請



↑要請する「オール沖縄」代表と、うりずんの会のメンバーら。
←要請書を手交する高里代表（左）

安倍政権が秋田、山口両県への迎撃システム「イージス・アショア」の配備を断念したことを受け、「辺野古新基地を造らせないオール沖縄会議」と県選出の野党国会議員でつくる「うりずんの会」は6月30日、嘉手納町の沖縄防衛局を訪れ、辺野古新基地建設の中止を求めました。

オール沖縄・高里鈴代共同代表などは、「新基地建設の工期は今後12年以上続き、普天間基地の危険性は放置される。即時閉鎖し撤去すべきだ」と強調しました。伊波洋一、高良鉄美両参院議員も参加し、安倍政権の対応を批判しました。

これに対し田中利則防衛局長は「辺野古新基地は、普天間の危険性除去の唯一の選択肢だ」と呪文のような従来通りの答弁を繰り返すだけでした。

イージスアショアよりコストも工期も大幅増
危険な普天間基地の即時閉鎖・撤去も要求

7月4日(土)の県民大行動は中止です！

オール沖縄会議では新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点からゲート前での県民大行動の中止を決定しました。

(中止決定は以下の通り)

「県民大行動」 7月4日(土) 10時～ 辺野古ゲート前
なお、8月については現在調整中です。

2020年6月30日(火)
オール沖縄会議事務局

本ニュース 間もなく300号に！

—ご感想などメッセージをお寄せください—

本ニュースは2015年4月14日に第1号を発行し、もうすぐ節目の300号を迎えます。読者のみなさんのご感想や、転送などで本ニュースを活用した反応などをメッセージとしてメールやFAXでお寄せ下さい。本ニュースで随時ご紹介させていただきます。送り先は、本ニュース最上覧をご参照ください。

高江へリパッドの工事再開

ノグチゲラなど野鳥の営巣期のため中断されていた東村高江のヘリパッドや取り付け道路の補強工事が、7月1日から再開されるとの情報が入りしました。

高江住民の会の伊佐育子さんは「私たちは工事中止を求める立場で、体制をとり早朝から監視活動を強めます」と話しています。

下の写真は6月30日午後4時現在のN1ゲート前の様子です。



“県議選勝利に確信” 共産党後援会が辺野古ツアー再開

日本共産党県後援会が6月26日、辺野古ツアーを再開しました。

10人が参加、ゲート前に午前10時過ぎに着、早朝からいる40人と合流し、座り込みに参加しました。

昼を挟んで作業車が入る時間帯は、コロナ対策で自主的に避難しました。



辺野古反対を示した県議選

ゲート前で中村重一県党書記長が挨拶(写真右)し、「菅官房長官が県議選で県民の辺野古新基地への理解が進んだ、などと述べたが県議選で自民党は票を減らしており県民の辺野古反対の民意は明確だ。現場のたたかいを強め、新基地を必ず中止させよう」と訴えました。

闘いの現状と歴史を学習

その後、ツアーは名護共同センターを訪問。パワーポイントで闘いの現状や歴史のドラマを学習しました(写真)。参加者は、時にうなずいたり、拍手をするなど熱心に視聴しました。

なお、次回同ツアーは、7月24日(休日)に、



グラスボートの乗船も予定し、家族連れの参加を呼びかけています。

お申込みは

日本共産党

沖縄県委員会

☎098-

862-

6232